



Marine Border Shirt

マリンボーダーシャツ

ヘミングウェイが海釣りのときに愛用したボーダーストライプのシャツ。リゾートシャツの定番。船底のように横に広く開いたボートネックと七分丈袖が特徴。バスク地方の漁師の労働着という起源説からバスクシャツとも呼ばれる。

W

WAY OF HEMINGWAY

[ヘミングウェイの旅支度]

世界中を旅した文豪は
こんな名品を愛用していた

Illustrations & Text by Toru Saito

カジキマグロとヘミングウェイ

フィッシングとハンティングをこよなく愛したヘミングウェイ。「老人と海」の映画化の際、アドバイザーとしてロケに参加したヘミングウェイ。撮影の合間に、なんと800ポンドの巨大なマーリン（カジキマグロ）を釣り上げている。



Marlin And Hemingway

Safari Jacket

サファリジャケット



およそヘミングウェイほどサファリジャケットの似合う人物はいるまい。ニューヨークにあった伝説的な高級アウトドア用品店、アパークロンビー&フィッチで特注したものの。ベルトの代わりにゴム・シャーリングを採用。

Espadrilles

エスパドリュー

ヘミングウェイが船のデッキシューズとして愛用したエスパドリュー。丈夫な布製で、滑りにくいように底がジュートの縄編みになっている。おそらくはスペインのカタルーニャ州の老舗メーカー、カスターニエール製か。



Stetson Safari Hat



ステットソンの サファリハット

1953年、2回目のアフリカ狩猟遠征のときにナイロビで買ったステットソンのレザー製サファリハット。ステットソンは1865年創業のアメリカ屈指の帽子メーカー。このハットからもヘミングウェイの質実剛健ぶりがうかがわれる。

Jack Purcell Sneakers

ジャックパーセルの スニーカー

1941年にハネムーンで立ち寄ったハワイのワイキキビーチで撮っためずらしい写真が残されている。Tシャツ、ショーツにジャックパーセルの白いスニーカーを素足に履いている。爪先の「スマイル」と呼ばれるラインが特徴だ。



パーカー51

サファリでの天幕内でノートにメモを書きつけるヘミングウェイ。使用している万年筆はパーカー51。1941年に発表され、1970年代後半まで製造されたロングセラーの名品だ。ペン先がほとんどボディに覆われているのが特徴。

Parker 51

Hip Flask



ヒップフラスク

ボストンのJFKライブラリーに収められているヘミングウェイの遺品のひとつ、ヒップフラスク（携帯用酒瓶）。スキットルという呼称もある。あらゆる酒を愛した文豪の旅先のポケットには欠かせないものだったにちがいない。

Loafers

ローファー

いまや一般名詞化したローファーだが、ヘミングウェイが選んだのはニューヨーク州の老舗靴メーカー、ネットルトンのものだろうか。なにより快適性を好んだヘミングウェイは、ローファーをルームシューズとして素足で履いていた。



Lancia Aurelia

ランチア アウレリア

ヘミングウェイがいちばん愛した車が、イタリアのランチア アウレリア。ランチアは1906年設立の名門メーカー。1954年の夏、ヘミングウェイはランチアを駆ってヴェネチアからマドリッドまでドライブ旅行に出た。